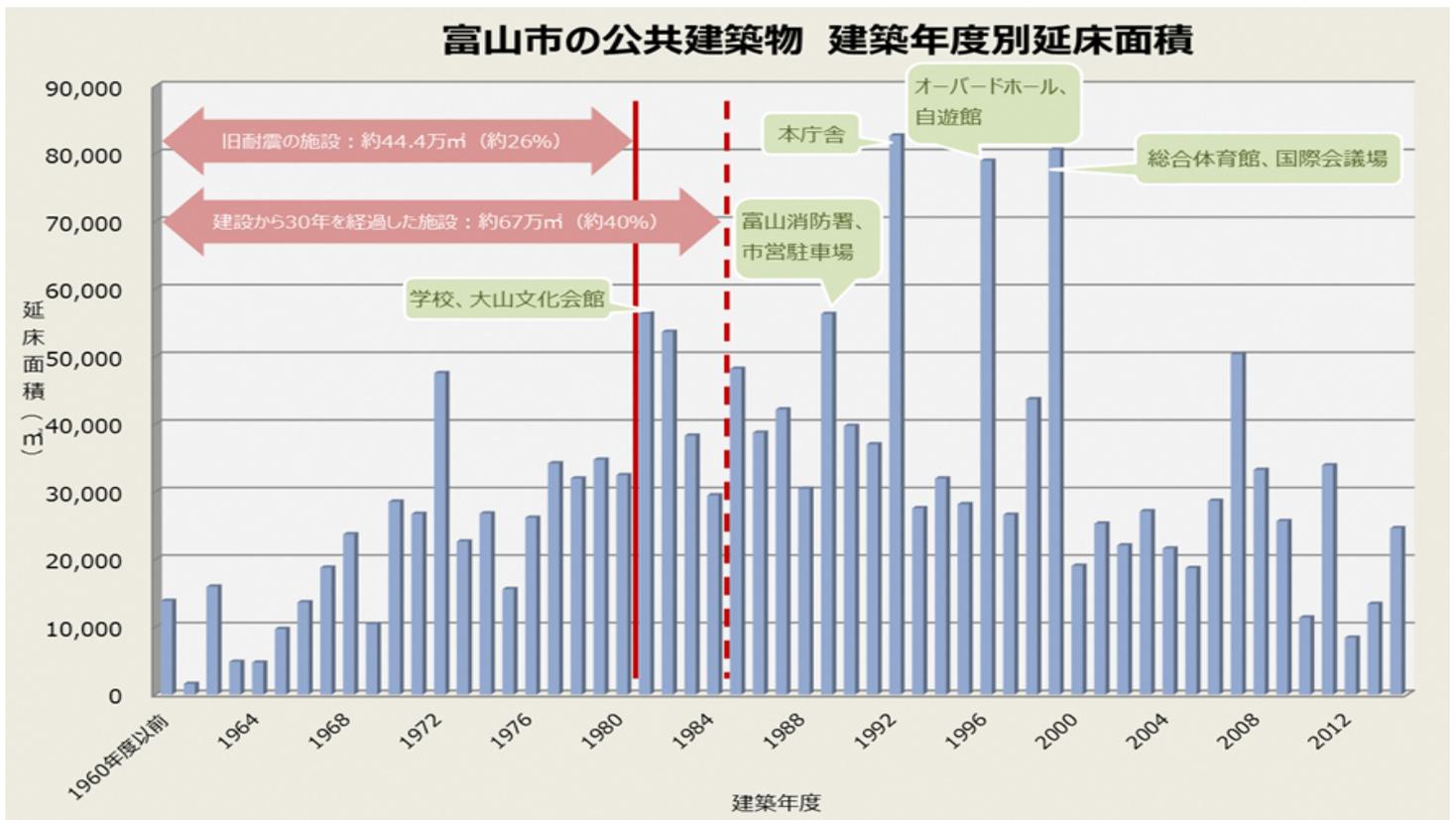


1 公共施設の老朽化が進んでいます



2 少子高齢化と人口減少で財政が厳しくなります



地域の皆様と、将来の公共施設の配置やあり方について考えています。

地域別実行計画

(1) 地域別実行計画

地域別実行計画は、「富山市公共施設マネジメントアクションプラン」に基づき、地域の実情やニーズを踏まえ、公共施設の再編に向けた方針を定めるものです。

地域別実行計画

地域の将来的な公共施設の再編方針

地域で優先して取り組むべき
個別具体施設の整備方針

(2) 地域の将来的な公共施設の再編方針

地域の将来的な公共施設の再編方針は、地域の実情を踏まえ、公共施設の将来の整備方針を定めるものです。具体的には、

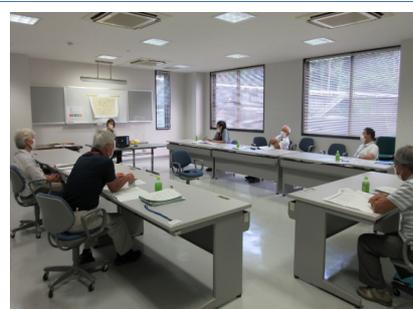
- ①地域のまちづくりの課題を解決するための、施設機能の強化や配置のあり方
 - ②限られた財源の中で、効率的な施設運営をしていくために、優先的に維持していく施設機能は何か
 - ③機能の重複している施設を整理していくための施設の配置や用途変更・統廃合等の整備のあり方
- などについて地域の状況を考慮することで、より実効性の高い計画を作成します。

(3) 優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針

優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針は、地域の公共施設の中でも優先的に取り組む必要のある施設を選定し、整備方針を検討するものです。

- ①優先して取り組むべき個別具体施設の名称
 - ②施設の整備方針（改修・複合化・統廃合・廃止等）
 - ③取り組み時期
- 等について明記します。

山田地域にお住まいの方をメンバーに迎え、ワークショップを進めています！



これまでのワークショップのご意見をもとに 山田地域の将来的な公共施設の再編方針（案） をつくりました！

1 まちづくり・公共施設全般に関する課題解決の方向性（抜粋）

① 地域拠点を核とした活性化

- 人口減少への対応が必要。
- 地域コミュニティ維持のため、多世代が利用できる施設が必要。
- 若い世代に魅力を感じてもらえるような、施設づくり、空き家の活用、働く環境の整備を行う。
- 複合化により、利用率の向上や施設への新たな価値の付加を図る。
- 複合化により、利用率の向上や施設への新たな価値の付加を図る。
- 交通アクセス（駐車場の広さ等）を確保する。

② 地域資源の有効活用

- 観光施設、レクリエーション施設の有効活用が必要。
- 稼働率を上げるための工夫が必要。
- 観光施設やレクリエーション施設は運営面で連携させて、地域として外から多くの方に山田地域に来てもらう工夫を行う。
- 観光施設・レクリエーション施設の魅力向上のため、民間のノウハウを活用する。
- 他地域の方の利用を促進するため、積極的な情報発信や誘致の仕組みを取り入れるなど運営面を強化する。

③ 子育て環境の充実

- 園児、児童、生徒数の減少。
- 子育て環境を維持するための工夫を図る。

④ 安全性の確保

- 避難所へのアクセスの確保。
- 施設の老朽化、耐震性への対応が必要。
- 避難所や避難経路の安全性を確保する。
- 災害時の指令拠点となる中核型地区センターの、災害時の事業継続性を確保する。

⑤ 将来負担の軽減

- 将来の人口規模を見据えた施設の整理が必要。
- 機能が重複している施設の整理を行う。
- 老朽化した施設や余剰床のある施設は、他施設との複合化や廃止を検討する。

これまでのワークショップのご意見をもとに 山田地域の将来的な公共施設の再編方針（案） をつくりました！

2 地域の将来的な公共施設の再編方針（案）（抜粋）

① 山田公民館、 山田交流促進センター

- 集会施設は、小学校区に1か所の配置とする。利便性を踏まえ、山田公民館の機能を存続させ、周辺施設との複合化・多機能化を検討する。

② 山田図書館

- 山田図書館は地域内に唯一の図書館であることから、現状の配置のまま維持する。

③ 山田総合体育センター、 山田総合グラウンド

- 利用状況が著しく悪化した場合には、施設の廃止を検討する。
- 利用者の安全を確保し、利用者の増加に向けた運営の工夫を行う。

④ 人工造雪多目的施設、牛岳温泉 スキー場管理事務所、オートキャンプ 場きらら、フォレストアメニティ展望台、 牛岳温泉健康センター

- 利用状況が著しく悪化した場合や、大規模改修が必要となった場合、民間への事業移管が困難な場合には、施設の廃止を検討する。
- 民間の運営ノウハウを活用し、利用促進及び運営の効率化を図る。

⑤ 山田農林産物加工直販施設 （山田の案山子）

- 運営状況は良好であり、地域外からの集客を見込める施設であることから、現状のまま維持する。

⑥ 山田小学校、山田中学校、 野外教育活動センター（子どもの村）

- 児童生徒数の推移を見極めながら、今後の小中学校のあり方について見直しを行う。
- 野外教育活動センターは、市内に類似施設があるため廃止を含めた施設のあり方を検討する。

⑦ 山田保育所

- 施設の老朽化や園児数の減少が著しい状況となった場合は、あり方を見直す。

⑧ 山田児童館

- 児童館は老朽化の状況などを考慮し、他の公共施設の空きスペース等を活用した複合化を検討する。

⑨ 山田中核型地区センター

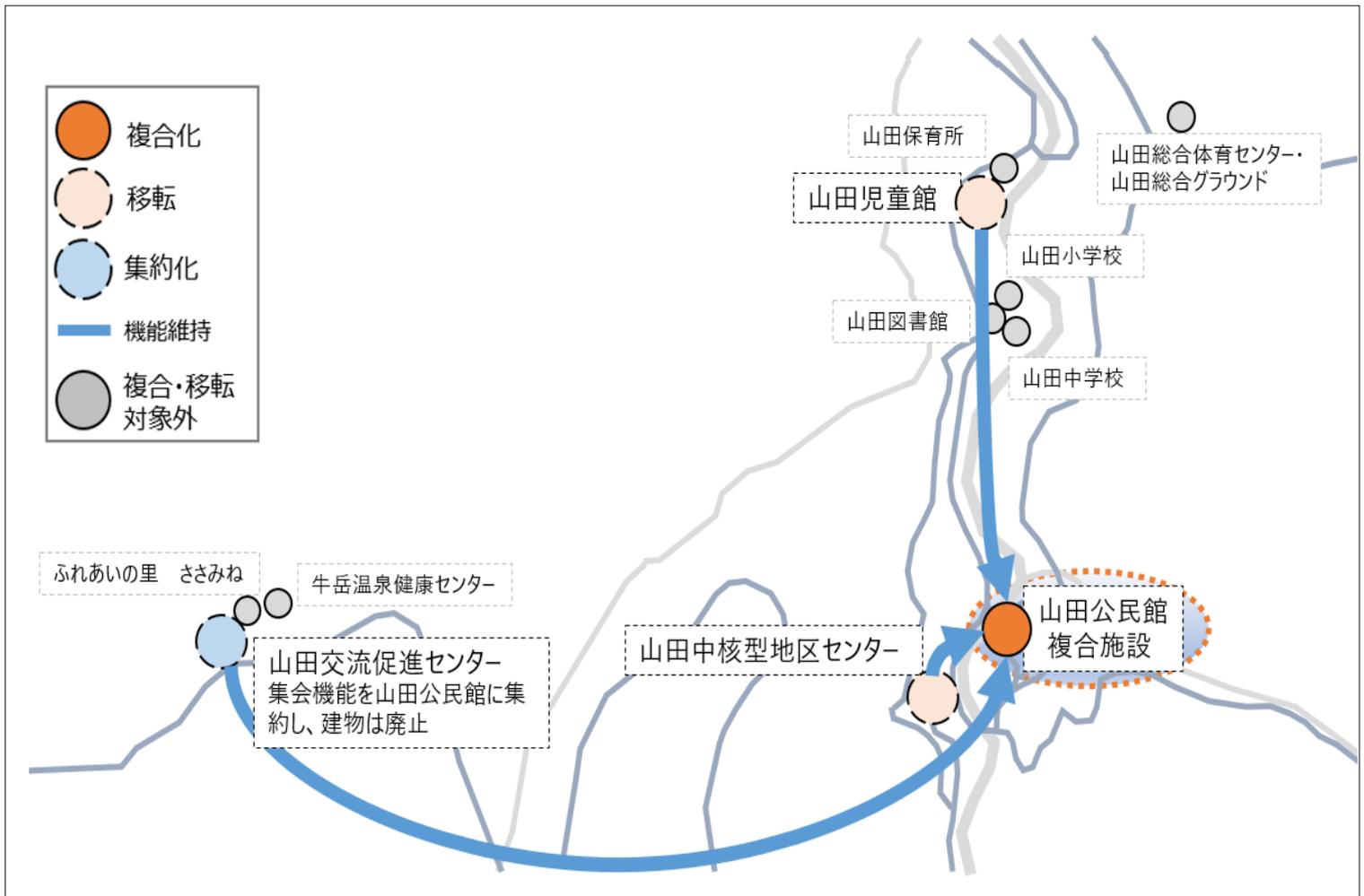
- 山田中核型地区センターは余剰床が発生しており、また、耐震性能に課題があるため、他施設との複合化を検討する。

これまでのワークショップのご意見をもとに 優先的に取り組むべき個別具体施設の整備方針（案） をつくりました！

A 案

山田公民館を改修 地域拠点として整備

- 山田公民館を改修し、耐震性を確保した上で中核型地区センターと山田児童館の機能を複合化した新規拠点施設を整備
- 山田交流促進センターの機能を山田公民館に集約化



長所

- 山田公民館は十分な敷地が確保されており、駐車スペースが十分に確保できる。
- 従来の地域活動拠点に、庁舎機能が付加され、ワンストップサービスが実現する。

課題

- 従来から山田公民館は避難所として指定されているが、山田川の氾濫など、災害対策が必要である。

B 案

山田中核型地区センターを改修 地域拠点として整備

- 山田中核型地区センターを改修し、山田公民館の機能を複合化した新規拠点施設を整備
- 山田交流促進センターの機能を山田中核型地区センターに機能移転



長所

- 中核型地区センターの未利用スペースを活用した複合化が可能である。
- 従来の庁舎機能に、公民館機能が付加され、ワンストップサービスが実現する。

課題

- 駐車スペースを十分に確保するだけの敷地がない。